

社会福祉法人北方町社会福祉協議会

令和3年度事業計画



令和3年度事業方針

1、事業方針

令和2年度、それはコロナウイルスとの闘いと新たな日常の模索の年でもありました。今までの生活が大きく制限され日常生活、仕事面、社会活動など未知との遭遇の連続でした。

社協としてもコロナ禍において、大人数が集まるイベントは中止したものの、感染対策を十分に考慮し、会議や行事を規模縮小するなど可能な限り事業を推進してきました。

現代社会には、少子高齢化、核家族化や住民の社会参加の低下などその潮流は色濃く存在しています。今回の未知なるコロナウイルスは、それらの更なる進行に加え、多くの人に経済面や健康面、さらには就業に至るまで将来不安を助長させる実状にあると考えます。今迄以上に福祉を求める声が増大してくるものと思われまます。

今年度も、住み慣れた地域で誰もが安心して暮らしていけるまちづくりを推進します。

運営方針に関しては、アフターコロナを見据えて、社協の認知度や知名度の向上、生活に困っている人に対しワンストップで支援できる複合的な相談事業及び円苑に集約した全ての事業の協業推進を図り法人価値の向上に努めて行くことを重点施策とします。

新しい日常とは、立ち止まることではなく、新しいやり方で新しい道を進んで行くことだと考えます。住民が何を求めているのか、又住民のために何が出来るかを考えるのが社協のあるべき姿です。マーケットインの発想で進めて行きたいと職員一同心を一つにしました。

関係者の皆様のご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。

2、運営方針

(1) 事務局（事業企画グループ・地域福祉グループ）

- ① 地域住民への発信力・認知度・イメージの向上
- ② 『なんでも相談事業』の拡充（昨年度の日常生活支援事業）
- ③ 全サービス事業の円苑集約による協業推進
- ④ 地域住民同士の「ふれあい活動」の推進
- ⑤ ITの利活用による業務の効率化と働き方改革
- ⑥ 福祉団体やボランティア団体との連携強化
- ⑦ 人材育成（自立自走、資格取得）
- ⑧ コロナウイルス感染防止対策の徹底

(2) 障がい福祉サービス事業

- ① 「誰もが輝く」の信念のもと、個性と可能性を最大限発揮できる職場づくり
- ② 利用者の増大と工賃アップ

(3) 介護保険サービス事業

- ① 「笑顔が一番」の信念のもと、常に笑顔が絶えない職場への風土改革
- ② 利用者の拡大に向けた顧客開拓の強化推進
- ③ デイサービス事業の再建再生に向けた体制づくり
- ④ 共生型サービス事業の事業化模索（高齢者と障がい者）

3、事業内容

(1) 事務局

①法人運営管理

- ・法人の運営及び管理に関する全般事項
- ・認知度やイメージUPに向けた広報活動（社協だより、SNS、パンフ等）
- ・ホームページの運用管理
- ・会員募集

②福祉推進事業

- ・みんなのお家の運営と新たな活動の推進
- ・高齢者向け配食サービス
- ・福祉講演会の開催
- ・福祉標語・イラストの募集
- ・家族健康農園の貸出し
- ・男性料理教室の開催
- ・おやじの土いじりの会の開催
- ・各種講座の開催（養成講座、福祉講座等）
- ・各種ボランティア・サポーターの支援

③助成事業

- ・福祉団体への助成
- ・福祉協力校への助成
- ・サロン活動団体への助成
- ・高齢者向け紙オムツの助成
- ・自治会、老人会への助成

④ふれあい交流事業

- ・福祉フェスティバルの開催
- ・福祉運動会の開催後援
- ・ふれあい交流会の開催（みんなのお家、円苑など）

⑤なんでも相談事業【SNS 利活用】

- ・生活福祉資金の貸付相談
- ・生活支援相談（就労支援、各種支援金）
- ・弁護士相談へのつなぎ支援
- ・日常生活自立支援
- ・車いす等福祉用具の貸出し

(2) 障がい福祉サービス

①障がい福祉サービス事業所もちの木

②相談支援センターもちの木

(3) 介護保険サービス

①ケアプランセンター（認知症カフェの開催）

②デイサービスセンター（ミニデイの運営）

③ホームヘルパー